



## 行って、見て、感じて、考える 第6回SGRAふくしまスタディツアー参加者募集

関口グローバル研究会（SGRA）では2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを行ってきました。  
そのスタディツアーでの体験や考察をもとにしてSGRAワークショップ、SGRAフォーラム、SGRAカフェなど、さまざまな催しを展開してきました。  
今年も第6回目の「SGRAふくしまスタディツアー」を行います。ぜひ、ご参加ください。

### 《「帰還」－新しい村づくりが始まる》

日程：2017年9月15日（金）、16日（土）、17日（日）

人数： 10人程度

宿泊：ふくしま再生の会-霊山（りょうぜん）センター

参加費：奨学生、元奨学生（ラクーンメンバー）は参加費無料  
（一般参加者は新幹線往復費用＋1万2千円）

申込み締切：8月31日

申込み・問合せ：SGRA事務局 角田 [tsunodaaisf@gmail.com](mailto:tsunodaaisf@gmail.com) Tel:03-3943-7612

#### 【プログラム】

（プログラムは現地の状況を見ながら進めます）

##### 第1日目 9月15日（金）

朝：東京⇒福島（新幹線）

午後：飯舘村内の視察・見学

夜：飯舘村住民、ふくしま再生の会のメンバーとの語らい

テーマ：「帰還と新しい村づくり／何をを目指すのか」（菅野宗夫）

「ふくしま再生の会の活動」（田尾陽一）

##### 第2日目 9月16日（土）

午前：飯舘村内の視察・見学

新しい村づくりプロジェクトの見学：太陽光発電＋牛の放牧、花のハウス栽培、コメ作り

午後：ふくしま再生の会との協働作業

地元農民、ふくしま再生の会のメンバーとの協働作業

夜：若い世代との語らい

「飯舘村再生と地域の継承」「真手（マテイ）の村作りは持続可能か」

##### 第3日目 9月17日（日）

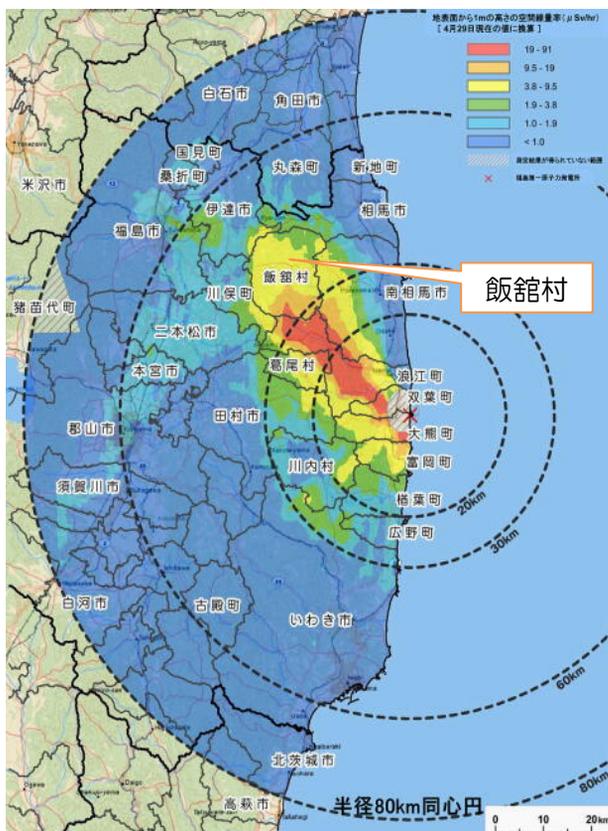
午前： 未定（希望にそってプログラムを決めます）

午後：飯舘⇒福島、福島⇒東京（新幹線）

**★食事は自炊します！お料理自慢の方、自分の国の料理を作りたい方、大歓迎です！！**

ツアーの安全性について：

1. 飯舘村の放射線量は低減し飯舘村内では徐々に住民が帰還しはじめています。
2. ツアーには放射能問題の専門家が同行し、放射線量が高いと思われる場所での活動は行いません。
3. 一人一人が放射線測定器を持ち、自分で計測し、ポイントごとに安全を確認しながら行動します。



文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果

## 《飯館（いいたて）村とは》

東京から北に約300Km

福島第一原発から北西に約30～40Km

人口：6,100人

面積：230Km<sup>2</sup>（東京の山手線内の3.5倍）

主な産業：酪農、農業、林業など

飯館村は75%が森林に囲まれ「日本の美しい村100選」にも選ばれた村でした。

## 《飯館村の放射能被害》

- 東日本大震災による福島第一原発事故が発生したのは2011年3月11日。この時点では飯館村には深刻な被害はありませんでした。
- しかし、3月14日福島第一原発が水蒸気爆発をおこし大気中に放射能汚染物質（radioactive pollutant）がまき散らされました。放射能汚染物質が風に乗って飯館村の上空に来た時、雨や雪が降り、雨や雪に付着した放射能汚染物質が飯館村に降り注いだのです。
- そして5月に政府の唐突な指示により全村民が避難し、避難生活が始まりました。

## 【飯館村の現状と課題】

- 膨大な資金を投入して行われた家屋や農地の除染（decontamination）事業により放射線量も徐々に下がり、飯館村に対する《「避難指示」は、今年の3月31日に解除されました。》
- 6年間日本各地に避難していた住民が、ふるさとに帰り始めています。しかしながら住民が帰還したとしても、一度汚染された土地で、以前と同様の酪農や農業、林業を営んで行くことはできません。政府は、こうした地域再生に対する具体的な政策は持っていません。
- 多くの住民たちは「自分のふるさとに帰りたい」、「ふるさとで昔ながらの生活をしたい」という思いを持つ一方で、帰ったとしても「生活ができるのだろうか」という不安とジレンマに直面しています。
- こうした困難な状況にも関わらず、飯館村への帰還を目指す住民たちは、地域の文化、伝統を継承しながらの「新しい村づくり」、地域産業の再生に向けたチャレンジを始めようとしています。

## 【ふくしま再生の会】

- 今回のスタディツアーの受入団体であるふくしま再生の会は、飯館村の住民、都市からのボランティア、大学等の研究者/学識者（東大大学院農業学学生命科学研究科、高エネルギー加速器研究機構等、世界の大学・研究所）の3グループのコラボレーションを原則として、飯館村でボランティア活動を行っている認定NPO法人です。
- 2011年秋から、飯館村の再生プロジェクトとして、住民による効率的な除染方法の研究開発や飯館村に伝わる「マテイ（真手）」の考え方をもとにした、サステイナブル/エコロジカルな地域産業とコミュニティの再生に取り組んでいます。
- ふくしま再生の会の活動については下記のURLをご覧ください。

<http://www.fukushima-saisei.jp/>